

科目名	セキュアで統制された企業と情報システム
担当講師	居駒幹夫, 牟禮恵美子, 谷一磨
分類	必修
時間数	7.5
学習形態	オンラインリアルタイム
授業の概要	<p>DX・AI時代における企業の統制と情報システムを、公認会計士向けに短時間で整理する。財務情報だけでなく、サステナビリティ情報など非財務データもシステム上で管理される現在、企業統制は財務・非財務を通じた「横断的な情報統制」として理解する必要がある。</p> <p>本科目では、JSOX法とサステナビリティ開示の基本を概観し、情報システムマネジメント分野での代表的ガイドをベストプラクティスとして紹介する。さらに、AI活用が広がる中で、AIガバナンスが新たな統制領域となることを示し、未来の会計士に求められるコンピテンシーを明確にする。</p>
特色とメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・財務報告統制（JSOX）と非財務報告（サステナビリティ）の双方を支える、横断的な「情報統制」の構造を理解できる ・情報システムマネジメント分野でのガイドも義務とベストプラクティスの観点で区別して学べる ・AI活用が前提となる今後の監査・会計業務の方向性を理解し、キャリア形成の視点からも新しい職務像を考えられる
学習目標	<p>受講を通じて、以下の知識・能力を習得することを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DX・AI時代の企業統制、IT統制の全体像を説明できる ・サステナビリティ報告に関わる統制要件を整理できる ・JSOX IT統制（IT全社統制、IT全般統制・IT業務処理統制）の構造を理解する ・主要な情報システムマネジメント関連の統制ガイドの概要を理解する ・IT活用が前提の監査・会計業務の将来像及び未来の会計士に求められるコンピテンシーを説明できる
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・DX・AI時代の企業アーキテクチャと統制（居駒） ・財務報告統制としてのJSOX法の基礎構造：（谷） <ul style="list-style-type: none"> - IT全社統制・IT全般統制・IT業務処理統制 ・非財務報告としてのサステナビリティ開示と保証：（牟禮） <ul style="list-style-type: none"> - 企業が開示すべき非財務情報の開示規制と開示内容 - 開示情報の信頼性を確保するための保証基準と保証手続 ・情報システム統制ガイドの概要：（居駒） <ul style="list-style-type: none"> - ISO/IEC 27001（情報セキュリティマネジメント要求事項） - COBIT（ITガバナンス） - ITIL（ITサービスマネジメント） ・AI時代における会計士/監査人としてのキャリア設計：（谷）（居駒）
受講の前提条件	特になし
事前学習	特になし
事後学習	特になし
参考文献・オンライン科目	<ul style="list-style-type: none"> ・金融庁「財務報告に係る内部統制の評価及び監査基準（JSOX）」 ・SSBJ「SSBJサステナビリティ基準」：日本企業向けのサステナビリティ開示に関する公式基準 ・IAASB「ISSA 5000」：サステナビリティ情報の保証業務に関する国際的基準 ・ISO/IEC 27001：情報セキュリティマネジメントシステムの要求事項を示す国際規格 ・ISACA「COBIT」：ITガバナンスと内部統制のための統合フレームワーク ・AXELOS「ITIL」：ITサービスマネジメントのベストプラクティス集